

ダラシンカプセル 75mg、ダラシンカプセル 150mg

【この薬は？】

販売名	ダラシンカプセル 75mg Dalacin Capsules 75mg	ダラシンカプセル 150mg Dalacin Capsules 150mg
一般名	クリンダマイシン塩酸塩 Clindamycin Hydrochloride	
含有量 (1カプセル中)	75mg (力価)	150mg (力価)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、リンコマイシン系抗生物質と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因である細菌の増殖を阻止し、炎症症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、涙囊炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎、猩紅熱

<適応菌種>

クリンダマイシンに感性的ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、一回分を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にダラシンプセルに含まれる成分やリンコマイシン系抗生物質に対し過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・高齢の人、衰弱している人、過去に大腸炎などにかかったことのある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・アトピー性体質の人
 - ・食道に異常があり、食べ物の通過障害がある人
 - ・重症筋無力症の人
- この薬には併用してはいけない薬[エリスロマイシン（エリスロシン等）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状や体重などにあわせて医師が決めます。
通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

含有量	75mg	150mg
一回量	2 カプセル	1 カプセル
飲む回数	1 日 4 回	1 日 4 回

[重い感染症の場合]

含有量	75mg	150mg
一回量	4 カプセル	2 カプセル
飲む回数	1 日 3 回	1 日 3 回

[小児の場合]

1 日量	体重 1kg あたり 15mg	重い感染症
		体重 1kg あたり 20mg
飲む回数	1 日量を 3~4 回に分けて飲みます	

●どのように飲むか？

カプセルが食道に留まって崩壊すると、食道に潰瘍を生じる可能性があるため、コップ 1 杯（180mL）程度の水または牛乳で飲んでください。寝る直前には飲まないでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬により、まれに発熱、腹痛、白血球増多、粘液・血液便を伴う激症下痢を主な症状とする重篤な大腸炎である偽膜性大腸炎があらわれることがあります。使用している間または使用后 2～3 週間までに腹痛、頻回な下痢があらわれた場合には、ただちに使用を中止し、医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんとうのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	嘔吐（おうと）、むかむかする、腹痛、下痢、血が混ざった便、発熱、頻回な下痢、血の混じった下痢
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（トキシックエピダーマルネクロリシス：テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（ステーブンスージョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステーブンスージョンソンしょうこうぐん）	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	からだがだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、食欲不振
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	発熱、かゆみ、全身の発赤、皮膚の表面がはがれおちる

薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	からだがだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、発疹、全身の発赤、発熱、のどの痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み

同類薬（クリンダマイシンリン酸エステル）であられる、特にご注意ください。重大な副作用とそれぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



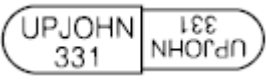
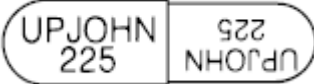
重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
PIE 症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息苦しい、息切れ
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、発熱、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、高熱、からだのむくみ、疲れやすい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい
耳	耳鳴り
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、嘔吐、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、のどの痛み、から咳、咳、歯ぐきの出血、吐き気

部位	自覚症状
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、むかむかする、吐き気
腹部	むかむかする、腹痛、頻回な下痢、食欲不振、吐き気
手・足	関節の痛み
皮膚	じんましん、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身の発赤、皮膚の表面がはがれおちる、かゆみ、発疹、あおあざができる、皮下出血、皮膚が黄色くなる
便	下痢、血が混ざった便、血の混じった下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿がでない、尿量が減る
その他	判断力の低下、陰部の痛み、出血しやすい、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	ダラシンカプセル 75mg	ダラシンカプセル 150mg
PTP シート		
含量	75mg (力価)	150mg (力価)
形状		
色	頭部：橙色不透明 胴部：淡橙色不透明	
識別コード	UPJOHN331	UPJOHN225

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ダラシンカプセル 75mg	ダラシンカプセル 150mg
有効成分	クリンダマイシン塩酸塩 75mg (力価)	クリンダマイシン塩酸塩 150mg (力価)
添加物	ステアリン酸マグネシウム、タルク、トウモロコシデンプン、乳糖水和物 (カプセル本体) 酸化チタン、ラウリル硫酸ナトリウム、赤色 3 号、黄色 5 号	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。

- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

製品情報センター

患者さん・一般の方：0120-965-485

FAX：03-3379-3053

受付時間：月～金 9時～17時30分

(土日祝祭日を除く)